

令和5年3月31日

久留米市議会議長 様

久留米市城南町 15 番地 3

会 派 名 明政会議員団

代表者名 石井 秀夫



政務活動費事業実績報告書

久留米市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 事業の完了年月日 令和5年3月31日（令和4年度分）

2 事業実績の概要

- ・国内行政視察、研修会参加

5月12日～13日 全国地方議会サミット2022参加（東京都）

11月4日 埼玉県さいたま市

11月15日 地方議員研究会セミナー参加（東京都）

1月26日 地方議会総合研究所セミナー参加（東京都）

2月17日 地方議員研究会セミナー参加（大阪市）

- ・市政報告の発行

- ・調査研究費（交通費）

- ・事務費

タブレット通信費用、消耗品の購入

研修報告書

令和 4年 7月 1日

会 派 名 明政会議員団

代 表 者 石井 秀夫 様

明政会議員団

会 派 名

報 告 者 田住 和也




政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和 4年 5月12日-13日
開 催 地	早稲田大学大隈記念講堂
参加議員名	田住和也 、 古賀としかず
研修項目	全国地方議会サミット2022
当該研修への参加動機・目的	「デジタルで広がる・つながる・深まる議会改革」のテーマと登壇者(専門家や当事者)に興味があったため。
説 明 者	主催者：ローカル・マニフェスト推進連盟、マニフェスト大賞実行委員会
説明内容	12日(木)13-18時 ①住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会…江藤俊昭 ②チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治…北川正恭 ③各地からオンライン登壇も！オンライン議会の展開事例…千葉茂明 ④一人一人の多様な幸せを実現するデジタル庁のミッション…牧島かれん ⑤多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ…土山希美枝 13日(金)10-16時 ①速報！議会改革度調査ランキングとトレンド…中村健 ②Z時代にも届く！デジタルを活用した広報・広聴…古井康介他 ③いまこそ問われる！地方自治と議会の役割…片山善博
研修の成果	いま地方議会には、新型コロナウイルス感染症をはじめ多様な課題の解決に向けて、多様な意見の集約と政策への反映が求められています。デジタル活用においては、委員会のオンライン開催に関する全国市議会議長会による参考条例が示されるなど、その機運が高まっています。また、政治分野における男女共同参画の推進も求められるなど、議会の多様性の確保への体制の整備も迫られています。この研修で学んだ知識を今後の議員活動に活かしていきたいと思えます。

視 察 報 告 書

令和4年11月7日

会 派 名 明政会議員団
代 表 者 石井 秀夫 様

会 派 名 明政会議員団
報 告 者 田住 和也 

政務活動のため視察調査を実施したので、その概要を報告いたします。

実施年月日	令和4年11月4日(金)
視 察 地	埼玉県さいたま市
参加議員名	田住 和也
視 察 項 目	<ul style="list-style-type: none"> ・教育アクションプランについて ・チャレンジスクール推進事業について ・コミュニティスクール推進事業について ・さいたま市立小・中学校における教育課程特例校について ・新しい英語教育「グローバル・スタディ」について ・令和4年8月2日～4日開催の「さいたま市模擬国連大会」について
視 察 の 目 的	教育民生常任委員会委員長として、他市の事例を久留米市に取り入れる提案、要望ができるよう学ぶため。
当該視察地を選定した理由	目的達成のため、先進事例のある地方自治体を探していたところ、様々な事業や取り組み実績のある、当該市に大変興味があったため。
説 明 者	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会 管理部教育政策室 片倉室長補佐 他1名 ・教育委員会 学校教育部高校教育課 鴨志田課長 他1名 ・教育委員会 生涯学習部生涯学習振興課 神田主幹 他1名 ・教育委員会 学校教育部指導1課 猪鼻係長
説 明 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市教育アクションプランの概要、取組 ・チャレンジスクールの概要、あゆみ、取組、課題 ・コミュニティスクール推進事業の概要、取組、課題 ・さいたま市立小・中学校における教育課程特例校の概要、取組 ・新しい英語教育「グローバル・スタディ」の概要、取組、成果、課題 ・さいたま市模擬国連大会の目的、成果、課題
視察の成果と久留米市へ期待される効果	人口規模が違うとはいえ、大変参考になる調査となりました。特に小学校1年生から学ぶ英語教育方針や、学力向上に向けた取り組みなど今後、久留米市でも活かせる内容が多くありました。

研修報告書

令和4年11月16日

会派名 明政会議員団

代表者 石井 秀夫 様

会派名 明政会議員団

報告者 田住 和也



政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和 4年11月15日
開 催 地	東京都千代田区有楽町1丁目12-1 新有楽町ビル2階
参加議員名	市川廣一 、 田住和也 、 古賀としかず
研修項目	1. 基礎からわかる認知症問題 2. 基礎からわかる学校統廃合
当該研修への参加動機・目的	超高齢化社会が進む中で、認知症問題については、避けて通れない課題であり、併せて、少子化が進む中で、学校統廃合については、久留米市も直面する喫緊の課題であるため、しっかりと学ぶことが必要不可欠と考えられます。
説明者	地方議員研究会 宮本正一
説明内容	1. ①脳の正体をまず理解しよう ②症状別の認知症対策 ③あなたが認知症になったら？と考える大事さ ④アルツハイマーと認知症の違いは？ ⑤議員が押さえない介護保険制度 ⑥認知症予防についての提言 2. ①なぜ統廃合の議論か？をみんな間違えている ②少子化に対応した活力ある学校教育 ③廃校活用の官民連携事例 ④学校の適正規模と適正配置 ⑤寝屋川市での統廃合事例を議員目線で、時系列で学ぶ ⑥市民の立場と議員の仕事を混同しない考え方
研修の成果	講師の先生が話し上手で、非常に分かりやすく、受講者の意見や事例も聞き出されたため、研修の参加動機や目的に対して、大変参考になりました。 認知症問題については、アルツハイマーと認知症の違いや、介護保険制度などの基礎的なことを再認識し、国における総合戦略などを学習することができました。 また、学校統廃合については、少子化の影響などにより、他自治体においても、急激に進んでおり、様々な課題、校舎や土地の利活用など様々な事例を知ることができる良い機会となりました。 今後の久留米市に少しでも反映できるよう提案し、取り組みを推進していきたいと思えます。

研 修 報 告 書

令和5年2月6日

会 派 名 明政会議員団
代 表 者 石井 秀夫 様

会 派 名 明政会議員団
報 告 者 市川 廣一



政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和5年1月26日(木)
開 催 地	東京都豊島区東池袋1丁目6-44 アットビジネスセンター池袋駅前別館
参加議員名	市川 廣一、田中 良介
研 修 項 目	農業DXの将来像
当該研修への参加動機・目的	農業を基幹産業とする久留米市において、高齢化による担い手不足や農業者の所得向上など様々な課題を抱える中、将来の久留米市の農業政策をどのように導いていくのかについて見識を深めるため、今回の「農業DXの将来像」に関するセミナー参加を希望した。
説 明 者	(株)地方議会総合研究所 外部講師 スマートアグリコンサルタンツ LLC 代表/CEO 渡邊智之 氏
説 明 内 容	1. なぜこれからの農業に情報武装が必要なのか？ 2. 日本人の農法をブランドに 3. 農業DXの主役スマートフォーマー 4. 次世代食・農情報流通基盤(スマートフードチェーン) 5. 「リアル×バーチャル」の新しい農業の形
研 修 の 成 果	農業DXを進めていくためには、稼げる農業の構築が必要であり、6次化等による農業者の所得向上に繋がる取り組みも地域資源の活用などにより必要となるものと思われた。農業者だけが6次化に取り組むのではなく、企業や地域などが一体となって取り組むことが成功のカギを握っている。今後はそのような視点も盛り込んで、取り組みを推進していきたい。 また、AIやICT技術の活用という技術的なもの以外にも、人が持つノウハウや経験などの蓄積されたものをデータ化することも重要であり、技術とノウハウのどちらが不足しても目指す理想的な将来像は描けないこと、そして、何より重要なのは、技術的なものではなく、農業者や消費者も含め、あらゆる関係者達がこれまでの考え方や発想そのものをトランスフォーメーション(変革)するということである。この点に関しても地方自治体の積極的な支援が行われるよう、今回のセミナーで学んだことを生かしていきたいと思う。

研修報告書

令和5年2月20日

会 派 名 明政会議員団

代 表 者 石井 秀夫 様

会 派 名 明政会議員団

報 告 者 田住 和也



政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和 5年2月17日
開 催 地	大阪市東淀川区東中島1-18-22丸ビル別館
参加議員名	田住和也 、 古賀としかず
研修項目	公共施設をみれば、財政問題がわかる ～「面積削減」から財政経営への発想転換～
当該研修への 参加動機・目的	公共施設の在り方を含め、行財政改革については、久留米市も直面する喫緊の課題であるため、しっかりと学ぶことが必要不可欠と考えられます。
説 明 者	地方議員研究会 南学
説明内容	<ul style="list-style-type: none">・誰もわからなかった公共施設の費用・公共施設マネジメントで財政問題が見える・自治体は借金して大丈夫なのか・コロナ禍で消滅する自治体も・財政課も分からない自治体の将来財政
研修の成果	受講者の自治体の財政状況をホワイトボードに記載されていたため、各自治体の状況、研修の参加動機や目的に対して、大変参考になりました。 財政の問題点とその対応、地方債の機能、限られた財源の範囲で施設を更新・修繕する考え方、必要なトリアージの発想、他市の事例など、様々な視点からわかりやすい説明でした。 今後の久留米市に少しでも反映できるよう提案し、取り組みを推進していきたいと思えます。